

# タブレット端末を利用した 看護場面KYT学習ツールの評価

○島崎 敢<sup>1</sup> 中村 愛<sup>2</sup> 笠原 康代<sup>3</sup> 伊藤 輔<sup>2</sup> 三品 誠<sup>4</sup> 石田 敏郎<sup>1</sup>

1早稲田大学人間科学学術院

2早稲田大学大学院人間科学研究科

3首都大学東京 健康福祉学部看護学科

4有限会社サイビジョン

# 背景と目的

- 看護場面の危険予測能力の獲得はOJTによるところが多い
- 交通や建設分野では危険予知トレーニング（KYT）が盛んに行われており，一定の効果をあげている
- 交通や建設で実績のある危険予測訓練ツール HazardTouchを看護学生に使ってもらい，使用感などを調査する

# HazardTouchとは

- タブレット端末上で動作するソフトウェア
- 訓練者は提示された画面上の危険と思われる箇所をタッチする
- ソフトウェアは訓練者が「何を」「いつ」タッチしたのかを記録する
- 予め登録されたハザード座標情報をもとに、危険箇所に気づけていたかをフィードバックする
- 必要に応じてなぜ危険であったのか、解説も表示できる

# 刺激画像と実験参加者

- 病室で撮影した看護場面の静止画10シーン
- 看護学校の専門学校生93名（各学年31名ずつ）





テープを患者に貼ってから切っている

患者がキャスター付きのテーブルに体重をかけている



患者の足がテーブルの足に乗っている



ベッドが高すぎる



フットレストが上がったまま車椅子に乗ろうとしている



車椅子の向きが不適切



患者がフットレストを使わず点滴台に足をかかっている



ドレーンチューブがベッド柵の上を通っている



1

患者の様子を観るために訪室した。  
患者は認知症を併発している。  
ADLに問題はない。

オンデマンド



2



3

危険箇所にタッチできました

# 手順

- 実験初日昼休み (12:40-13:00)
  - 実験同意 → 教示と操作説明
- 初日～2日目
  - iPadを持ち帰り自由に学習
- 実験2日目昼休み (12:10-12:30)
  - アンケート記入

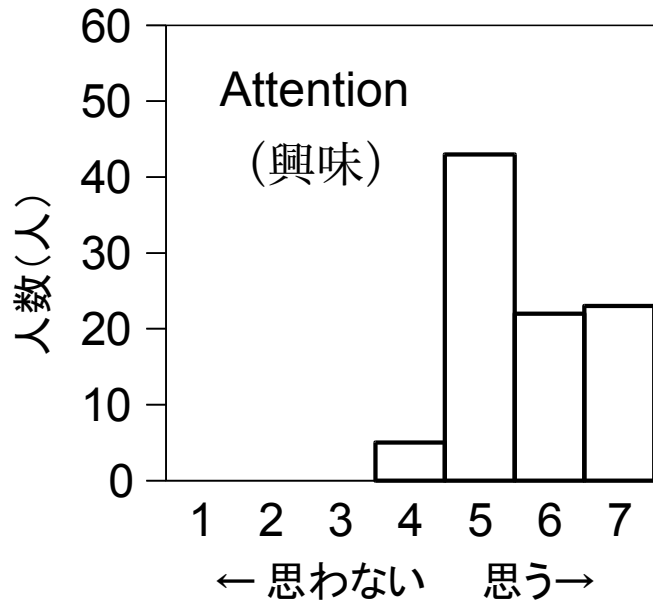


# 質問項目

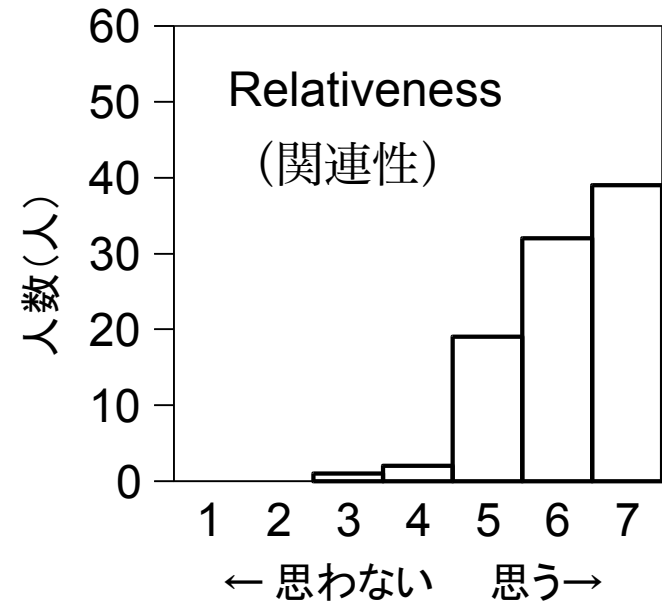
- ARCSモデル(Keller 1983)に基づく項目
- 難易度・効果・意欲に関する項目
- それぞれの場面の危険を
  - 以前から同様の場面の危険な理由を知っていた
  - 知らなかったが写真を見たら何が危険かわかった
  - 何が危険かわからなかった
- 危険な理由
  - 「配膳トレイ2枚」「ドレーンが高い」のみ
    - 事前の看護職者に対するインタビューに基づく
- 自由記述

# ARCSモデル(Keller 1983)に基づく質問項目

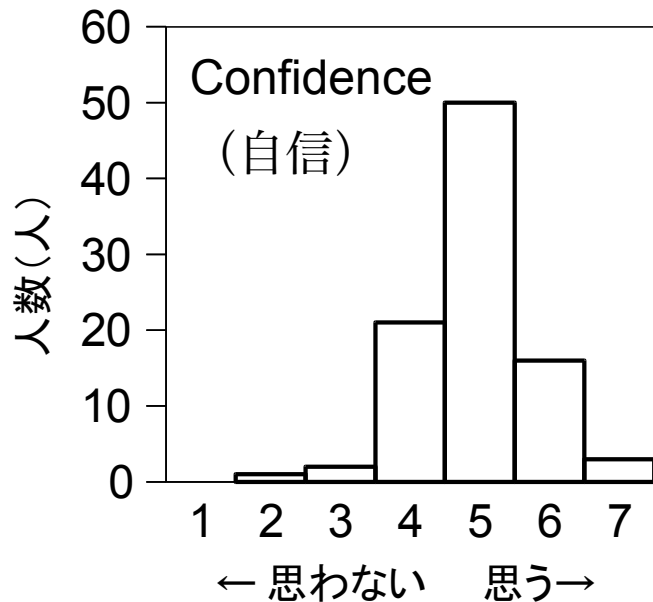
この訓練をやったか？  
 危険予知に興味を湧き



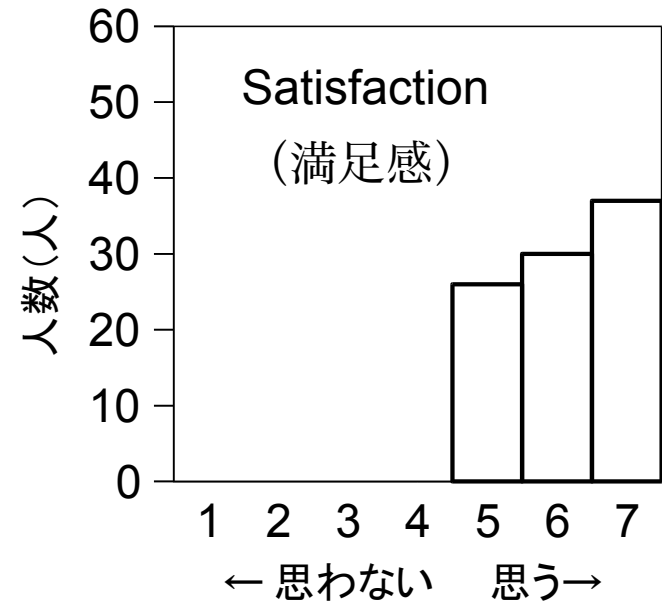
この訓練が看護に役立つか？  
 立ちそうですか？



この訓練をやったか？  
 危険予知に自信を持って

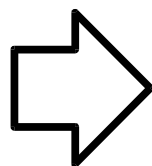
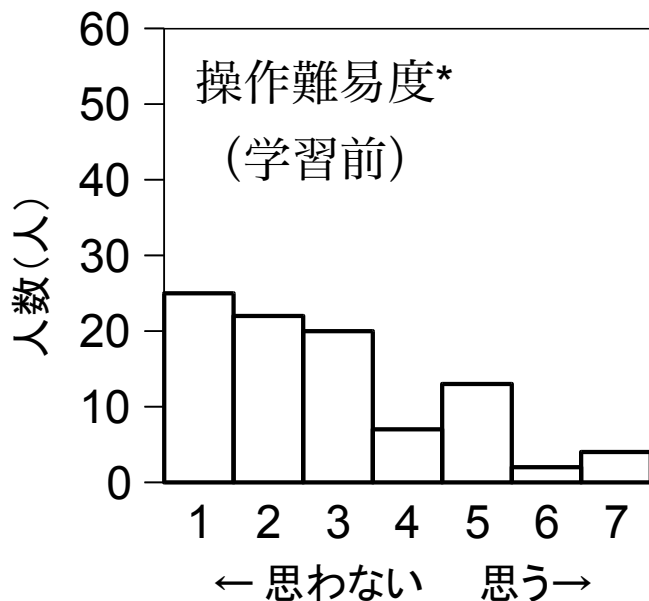


この訓練をやったか？  
 かつたと思えますか？

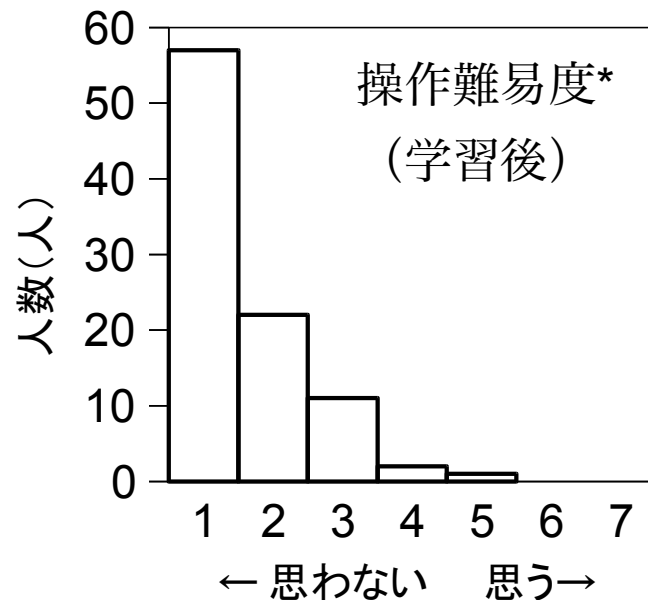


# 難易度・効果・意欲に関する質問

やる前に操作方法が  
難しそうだと思いますか？

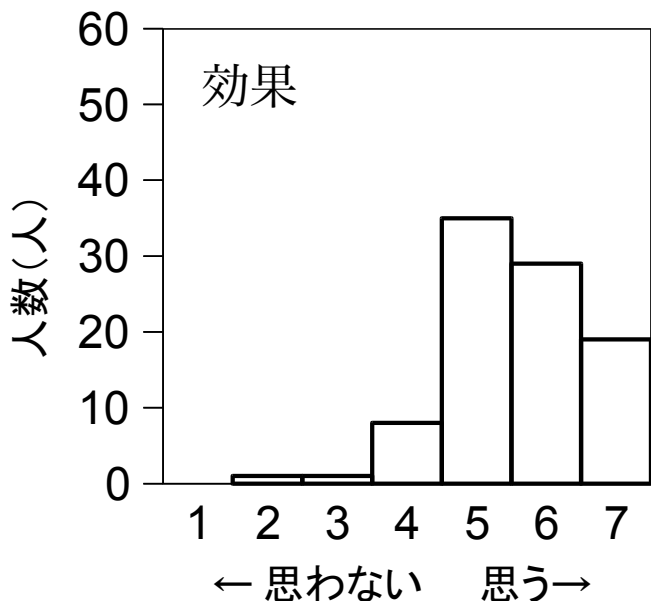


実際にやってみて操  
作方法は難しかった  
ですか？

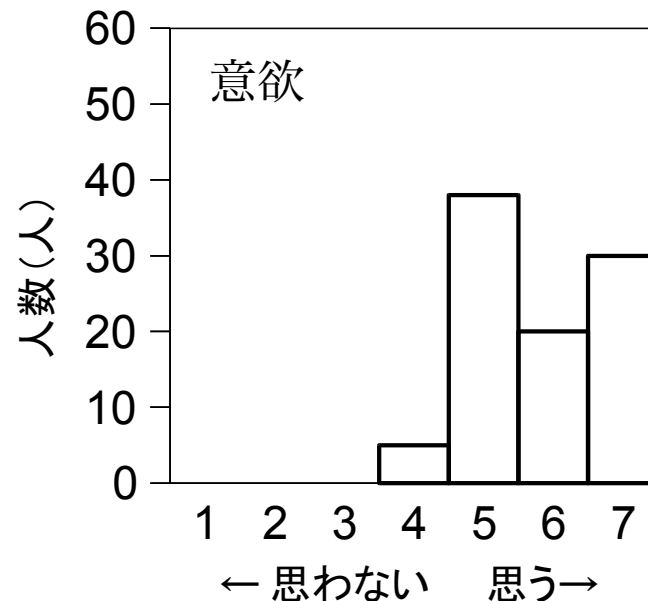


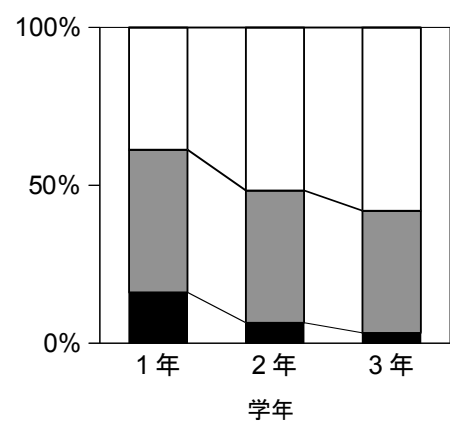
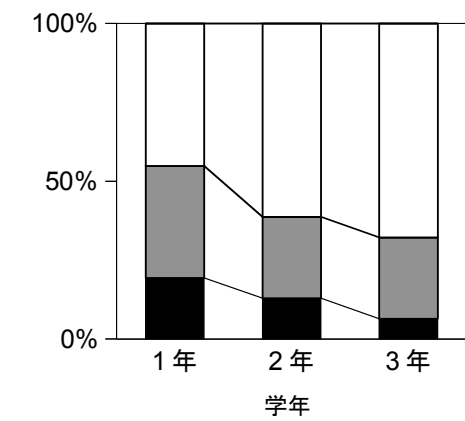
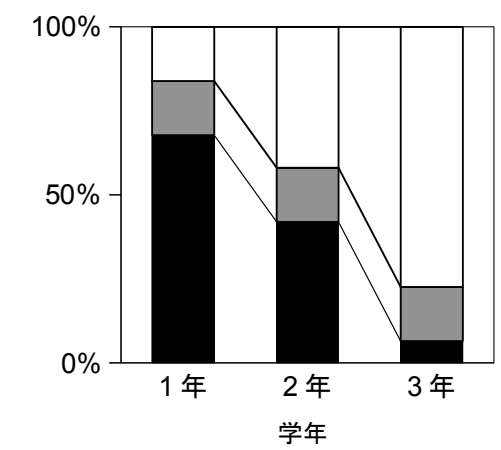
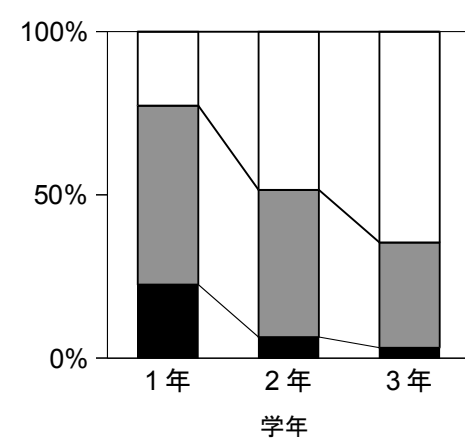
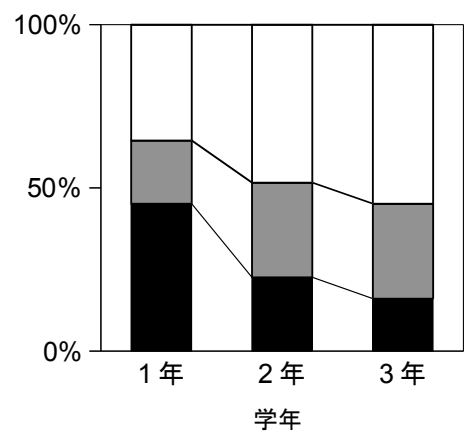
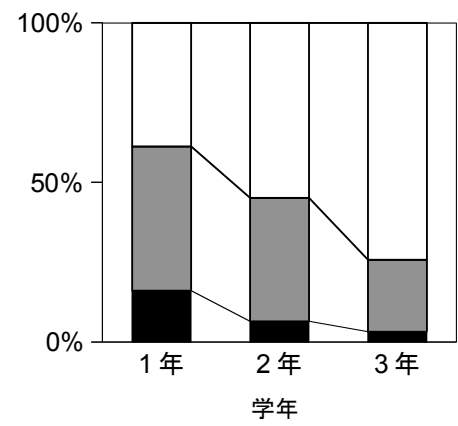
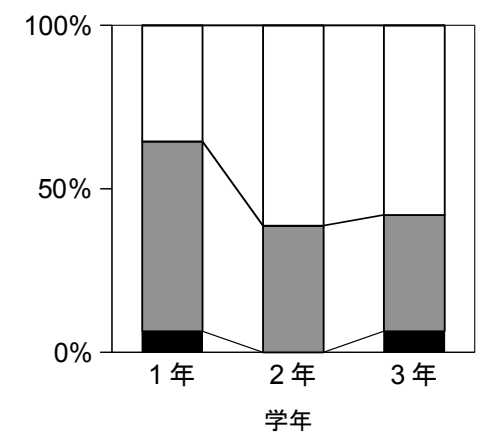
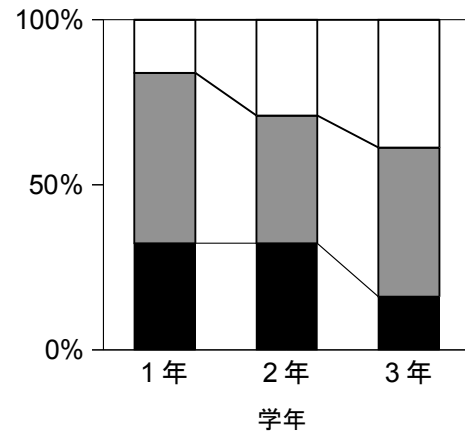
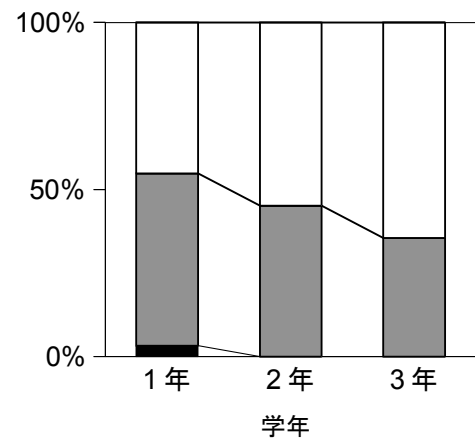
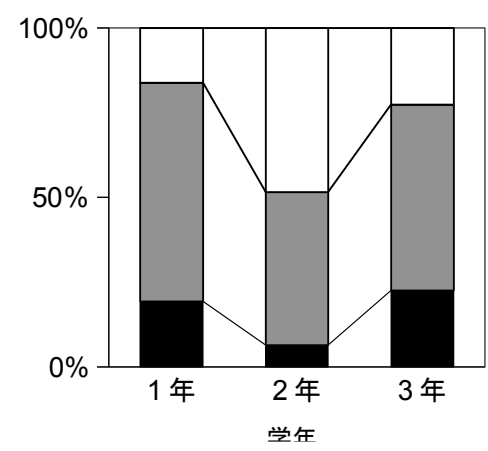
\*内容の難易度についてもほぼ同様の結果

この訓練の学習効果は  
あつたと思いますか？

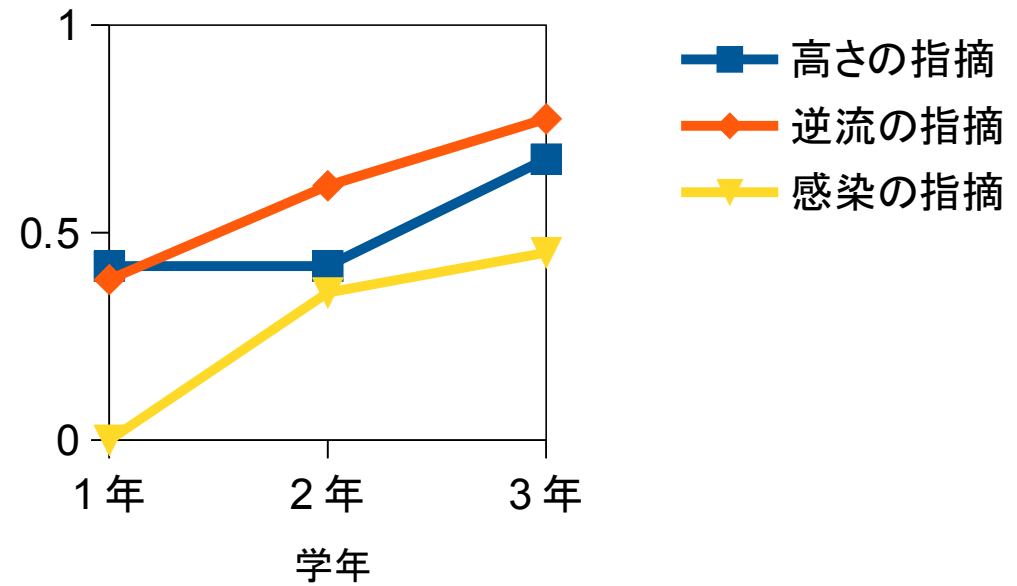
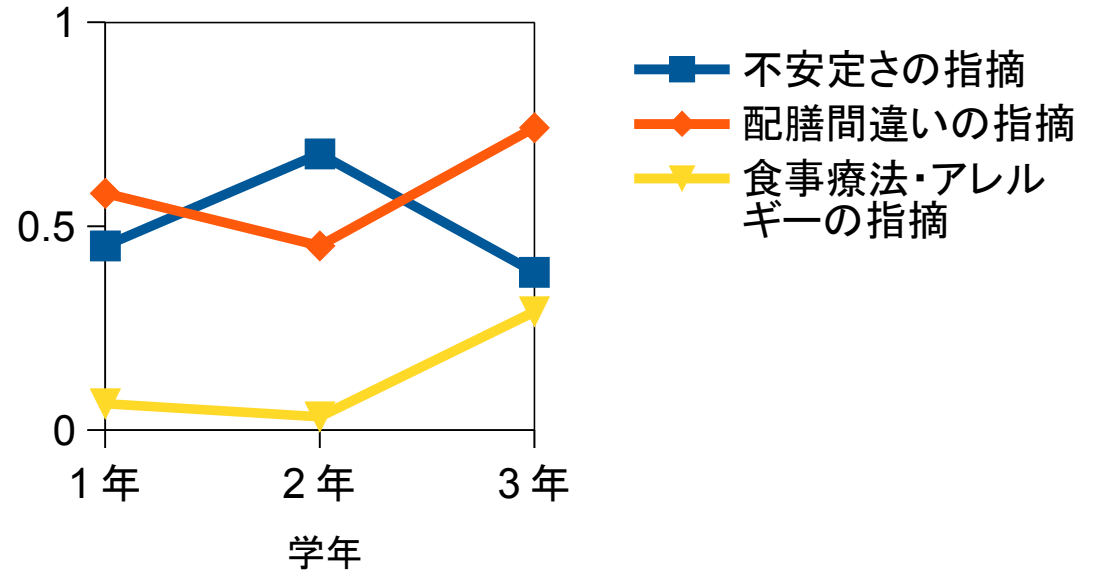


この訓練を今後も  
やりたいと思います  
ますか？





□ 知っていた  
 ■ 見たらわかった  
 ■ わからない



# 自由記述

- 楽しかった。紙より良い
- 1場面に複数の危険箇所があったほうが良い
- 危険箇所数が先にわかると良い
- もっと場面数を増やしてほしい
- 実習前にできてよかった
- スマホでもやりたい

# 宣伝

- HazardTouchはAppStoreから無料配布しています
- 本研究で使用した刺激画像はHazardTouchダウンロード後「シナリオ更新」から無料でダウンロード可能です
  - iPadを持っていただだけでも利用可能です。是非お試しください
- 研究・教育目的で利用をお考えの方，遠慮なくお声がけください
  - 刺激画像の追加等も応相談

ご清聴ありがとうございました

kankankan アットマーク ruri.waseda.jp

2013/11/23医療の質・安全学会にて発表